

令和8年産水稻の西南暖地における早期栽培等の 10a 当たり収量の前年比見込み及び平均比見込み（7月15日現在）

10a 当たり収量の前年比見込みは、徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期栽培等で「やや下回る」
10a 当たり収量の平均比見込みは、高知県、鹿児島県及び沖縄県の早期栽培等で「やや下回る」、宮崎県で「平均並み」、徳島県で「やや上回る」

全国の水稲の収穫量に占める西南暖地の
早期栽培等の割合は、令和7年産で 1.3%

- 気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した。

【予測結果の概要】

1 10a 当たり収量の前年比見込み

- 令和8年産水稻の西南暖地の早期栽培及び沖縄県の第一期稲の10a 当たり収量の前年比見込みは、徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県で「やや下回る」となった。
- これは、西南暖地の早期栽培等において、4月及び6月の日照時間が前年を下回って推移したためである。

表1 令和8年産水稻の西南暖地における早期栽培等の
10a 当たり収量の前年比見込み（7月15日現在）

区 分	10a 当たり収量の前年比見込み
徳 島（早期栽培）	やや下回る
高 知（早期栽培）	やや下回る
宮 崎（早期栽培）	やや下回る
鹿 児 島（早期栽培）	やや下回る
沖 縄（第一期稲）	やや下回る

注：1 10a 当たり収量の前年比見込みとは、10a 当たり予想収量が前年の10a 当たり収量と比較して多いか少ないかを表している。

2 10a 当たり収量の前年比見込み区分は、「上回る」が対前年比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。

- 西南暖地における早期栽培等の区域は、8月中旬頃までに刈取りがおおむね終了する早期栽培の面積割合がおおむね3割以上を占める徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培並びに沖縄県の第一期稲としている。

2 10 a 当たり収量の平均比見込み

- 令和8年産水稻の西南暖地の早期栽培及び沖縄県の第一期稲の10 a 当たり収量の平均比見込みは、高知県、鹿児島県及び沖縄県で「やや下回る」、宮崎県で「平均並み」、徳島県で「やや上回る」となった。
- これは、西南暖地の早期栽培等においては、4月及び6月の日照時間が平年を下回って推移した中、徳島県においては、出穂期を迎える7月の日照時間が平年を上回って推移したためである。

表2 令和8年産水稻の西南暖地における早期栽培等の
10 a 当たり収量の平均比見込み（7月15日現在）

区 分	10 a 当たり収量の平均比見込み
徳 島（早期栽培）	やや上回る
高 知（早期栽培）	やや下回る
宮 崎（早期栽培）	平均並み
鹿 児 島（早期栽培）	やや下回る
沖 縄（第一期稲）	やや下回る

注：1 10 a 当たり収量の平均比見込みとは、10 a 当たり予想収量が10 a 当たり平均収量（前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く））と比較して多いか少ないかを表している。

2 10 a 当たり収量の平均比見込み区分は、「上回る」が対平均比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「平均並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。

- 10 a 当たり収量の前年比見込み及び平均比見込み（7月15日現在）は、その後の気象が、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。
- 10 a 当たり収量の前年比見込み及び平均比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10 a 当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10 a 当たり予想収量は、7月15日現在では未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

◎ 累年データ

1 西南暖地における早期栽培等の10a当たり収量及び対前年比の推移

区 分	平成28年産		29		30		令和元		2	
	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比
	kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	478	107	477	100	463	97	451	97	443	98
高 知	479	104	495	103	462	93	450	97	442	98
宮 崎	454	114	486	107	469	97	450	96	459	102
鹿 児 島	416	109	464	112	439	95	427	97	431	101
沖 縄	348	102	350	101	362	103	330	91	359	109

区 分	3		4		5		6		7	
	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比
	kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	443	100	463	105	439	95	447	102	486	109
高 知	463	105	476	103	475	100	479	101	486	101
宮 崎	476	104	490	103	479	98	461	96	482	105
鹿 児 島	451	105	453	100	459	101	437	95	466	107
沖 縄	349	97	337	97	345	102	360	104	351	98

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下2について同じ。）

注：1 10a当たり収量は、生産者が使用しているふりい目幅で選別された玄米の重量である。

2 生産者が使用しているふりい目幅は、以下による。

令和元年まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に生産者等が使用したふりい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である。

令和2年以降： 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふりい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

2 西南暖地における早期栽培等の10a当たり平均収量及び作況単収指数の推移

区 分	平成28年産		29		30		令和元		2	
	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数
	kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	454	106	461	104	466	100	465	98	456	97
高 知	468	103	471	106	475	98	472	96	463	95
宮 崎	470	98	469	105	475	100	475	97	458	100
鹿 児 島	436	98	436	108	448	100	445	98	427	101
沖 縄	333	105	342	104	342	106	349	95	346	104

区 分	3		4		5		6		7	
	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数	10a当たり 平均収量	作況単収 指数
	kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	456	97	448	103	448	98	443	101	444	109
高 知	459	101	455	105	455	104	460	104	471	103
宮 崎	461	103	468	105	468	102	471	98	472	102
鹿 児 島	432	104	440	103	440	104	445	98	447	104
沖 縄	352	99	353	95	348	99	344	105	351	100

注：1 10a当たり平均収量とは、10a当たり収量の過去5か年のうち、最高、最低を除いた3か年の平均値である。

2 作況単収指数は、10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。

3 なお、平成28年産から令和元年産までの10a当たり平均収量及び作況単収指数は1.70mmのふりい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の10a当たり平均収量及び作況単収指数は生産者が使用しているふりい目幅ベースで算出した数値である。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040477273&ext=xls>

【水稻の10 a 当たり収量の前年比見込み及び平均比見込みの概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻の10 a 当たり収量の前年比見込み及び平均比見込み並びに水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y1

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について

水稻生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。病虫害・気象被害・生育の遅れなどのリアルタイムな情報を投稿・共有できます。右側の二次元コードから参加いただけます。

○水稻収穫量調査の試行調査について

一部の水稻生産者の方々を対象に水稻収穫量調査の試行調査を実施しております。調査票は令和8年9月、10月、11月の3回届きますので、ご協力をお願いいたします。



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

